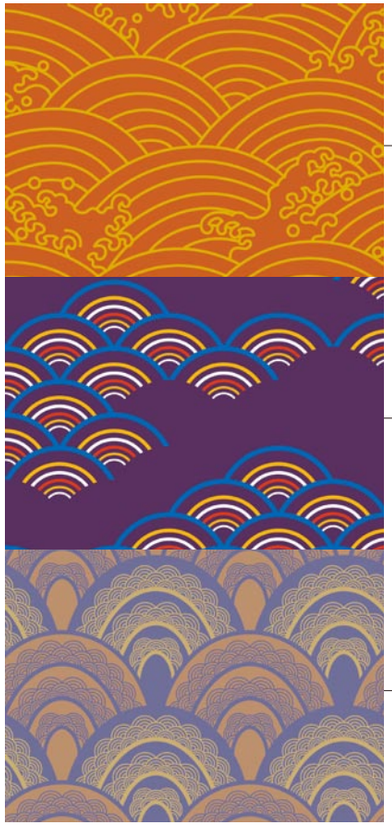
CD 01 005～008

青海波 ［せいがいは］-2

伝統文様には時代と共に約束ごとが変化するものがあります。例えば今ではあまり使われませんが、「雪文」という自然現象文は太鼓の縁飾りのような文で、雪を連想できません。しかし、使われている情景を見慣れてくると、約束ごとゆえに雪景色の雰囲気を感じるというものです。一方、「青海波」には、時代を超えた普遍性があります。



▶縫箔着物の青海波

CD 01-008

格調高くアレンジされた青海波です。波形にややうねりをもたせた、有名な「桜鴛鴦（おしどり）文縫箔」にも似ています。

◀千代紙の荒波青海波

CD 01-005

青海波の定型に沿った意匠です。作為を感じさせない線で均一感を脱し、うまく荒波を表現しています。

◀京友禅背景の青海波

CD 01-006

均一感を脱して独特のリズムをつくる手法は、伝統文様にしばしば見られます。色調も軽やかです。

◀型染の青海波

CD 01-007

青海波のなかの青海波。少し縦長にすることで窮屈さを感じさせません。

第1章.indd　10-11　07.5.10　0:31:12 AM